

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成28年 6月 10日

仕事の内容	情報教育推進事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 17	情報教育推進事業	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)			
	児童・生徒					→ 児童・生徒数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)			
	近年の高度情報化社会に対応した教育を進めるため、インターネット等の利便性や危険性、IT機器の活用を学習するための環境整備が必要である。					→ パソコンの設置台数			
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	各小・中学校における情報教育及び学校のICT化を図るため、コンピュータ教室の整備等を進めている。					→ 1台あたりの児童・生徒数			

2 指標の推移			単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人	6,640	6,609	6,571		
	成果指標	②の数値	台	400	400	400		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	人	17	17	16		

3 経費	事業費		円	43,177,026	42,774,796	43,043,538	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	43,177,026	42,774,796	43,043,538	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	43,588,676	43,186,446	43,455,188		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	本事業は、高度情報化社会に対応した学習環境を整備することを目的に実施している(平成11年度開始)。文部科学省が定める学校のICT環境整備計画では、児童生徒3.6人に1台、校内LAN整備が求められている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	文部科学省が定める学校のICT環境整備計画では、児童生徒3.6人に1台、校内LAN整備が求められている。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	パソコン等のハードウェアの環境整備は高額であるが、費用対効果や東大和市が進める情報教育のあり方について、一般質問が出されている。	

仕 事 の 内 容	情報教育推進事業					
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名	岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	<table border="1"> <tr> <td>取り組みは無い</td> <td>取組手法</td> <td> 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他() </td> </tr> </table>	取り組みは無い	取組手法
取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。		
	運用管理の一元化及び効率化		
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	学校ICT環境整備には、パソコン等の情報機器を必要整備することが必要であるが、その中核となる部分を統合することで、運用管理の一元化及び効率化が図られることから、現状のICT環境を再構築する。		
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。		
運用管理を一元化するためには、専門知識を有する人材の確保と現状の環境を大幅に再構築する必要がある。			
(3) 改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は維持する。